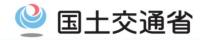
諸外国の客室乗務員の働き方

令和7年11月 安全政策課



各国における客室乗務員の働き方の比較



- 〇第1回目検討会での議論をもとに、諸外国の客室乗務員の働き方について、ヒアリングを実施※。
- 〇編成数の考え方に差はあるものの、サービス時の対応や機内休息の取り方については、同様の対応とのこと。

※全数ヒアリングではなく、サンプリングヒア

	日本	米国	欧州
編成数	・最低人数(50人に1人)に、サー	・最低人数の体制	・最低人数の体制
	ビス等を考慮し、数名を追加した	休養取得が必要なCAを帰宅させ	一部の国では、旅客数に応じて
	体制	るために人員追加する場合あり	編成数を変更
サービス時の	·保安業務時間の確保等から、	·保安業務時間の確保等から、	保安業務時間の確保等から、サービス時は、全員で対応
対応	サービス時は、全員で対応	サービス時は、全員で対応	
機内休息の	・巡航中、複数グループに分かれ	・巡航中、複数グループに分かれ	・巡航中、複数グループに分かれ
取り方	て休息を取得	て休息を取得	て休息を取得
進備		—————————————————————————————————————	

